

平成30年度 第43回関東中学校軟式野球大会

江戸川区立上一色中学校(東京) 対 船橋市立宮本中学校(千葉)

『後半に集中打！上一色中が全国へ！！』



山日YBS球場	準々決勝 第2試合	開始時刻	11:53	終了時刻	13:42	試合時間	102分						
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
江戸川区立上一色中学校(東京)	0	0	0	0	0	5	4						9
船橋市立宮本中学校(千葉)	0	2	0	0	0	0	0						2

【審判】 球審: 北村 和久 一塁: 入野 寛大 二塁: 中村 洋貴 三塁: 霜山 茂正
 【投手-捕手】 江戸川区立上一色中学校(東京) 投手-捕手: 深沢一富田
 船橋市立宮本中学校(千葉) 投手-捕手: 齋藤一板橋
 【長打】 二塁打: 荻部2(宮本)
 三塁打:
 本塁打:

<試合経過>全国決めの試合。2回裏、宮本中の攻撃。無死から4番塚本がセンター前安打。5番亀田の犠打で一死2塁。ここで6番石浦がレフト前安打で一点先制。続く7番中川も、センター前安打でさらに一点追加。その後、両者ピッチャーの好投により、得点許さず。試合が動いたのは、6回表、上一色中の攻撃。先頭3番岡田四球で出塁。4番荻部レフト前安打で2塁3塁。犠打をピッチャーの悪送球で無死満塁。6番館野右中間への安打で同点に追いつく。なおも1塁3塁。7番安達が四球を選び満塁。8番山口が死球押し出しで逆転。その後、二死満塁となったところで2番深沢のレフト前安打で2点追加。上一色中がこの回一挙に5得点。7回表上一色の攻撃。4番荻部左中間二塁打、送球が乱れている間に3塁へ進塁。5番富田ピッチャーゴロ本塁タッチアウト。その後一死2塁3塁から7番安達が四球を選び満塁とする。続く8番山口のレフト前安打で2点追加。なおも2塁3塁から9番渡辺のレフト前安打でさらに2点追加。6回7回に集中打の上一色中が9対2で勝利。全国への切符を掴んだ。(敬称略)

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	5	石神 遥樹	5	3	0	0	2	2	0	1
2	1	深沢 鳳介	5	5	1	2	0	0	0	1
3	8	岡田 翔馬	4	2	0	0	0	2	0	0
4	6	荻部 力翔	4	4	3	0	0	0	0	0
5	2	富田 倅丞	4	3	0	0	1	0	1	0
6	9	館野 智靖	4	4	1	2	1	0	0	0
7	4	安達 健太	4	1	0	0	0	3	0	0
8	3	山口 志温	4	3	1	3	0	1	0	0
9	7	渡辺 陽太	4	3	1	2	0	1	0	0
計			38	28	7	9	4	9	1	2

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
深沢 鳳介	7	21	25	79	4	5	1	2

打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	6	菅 海智	3	3	0	0	0	0	0	0
2	4	若林 衛	3	3	0	0	2	0	0	0
3	2	板橋 海斗	3	3	1	0	0	0	0	0
4	9	塚本 海莉	3	3	1	0	1	0	0	0
5	7	亀田 省吾	3	2	0	0	0	0	1	0
6	3	石浦 輝人	2	2	1	1	1	0	0	0
	3	片岡 彦太	1	1	0	0	0	0	0	0
7	5	中川 瑛仁	3	3	0	0	1	0	0	0
8	8	川口 壮太	2	2	1	1	1	0	0	0
計			25	23	4	2	7	1	1	0

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
齋藤 尊	7	21	38	140	7	6	9	9



チームコメント

上一色中 西尾監督

相手のチームも素晴らしく、立ち上がりから非常に苦しい戦いだった。ただ、選手も全員で声を出し、最後まで気持ちを切らさず、試合を終盤でひっくり返せてよかった。次の試合も全力で戦いたい。

上一色中 石神主将

序盤で2点先制される立ち上がりとなり、苦しい展開だった。焦りもあったが、主将として声をかけ合い、全中への切符をつかめて良かった。

宮本中 上田監督

相手との力の差を痛感した試合だった。選手たちはよく頑張ってくれた。ここまで連れてきてくれた選手たちには本当に感謝している。

